



### 石巻市河北町・北上町【仮設支援】



12月より、石巻市北上町・河北町の仮設住宅団地の集会所にて、伊藤牧師が中心になり、定期的にお茶会を開催しています。軽い体操やお話をしています。

定期的に顔を合わせることで、信頼関係を築き、より深い心のケアにつながっていけばと思っております。また仮設住宅への個別訪問も行い、集会所に来られない方ともコミュニケーションをとっています。



### 石巻市北上町【漁協支援など】



石巻市北上町の宮城県漁協十三浜支所の支援として、アワビをとるための“箱メガネ”を作るための杉板を登米市の材木屋さんに注文し、十三浜の建具屋さんにお届けしました。節なしで幅が広く乾燥した杉

板を選ぶことは、なかなか大変な作業でした。津波で500個もの箱メガネが流されてしまい、建具屋さんは本業をお休みし、箱メガネ製作で大忙しとのことでした。

北上町本地では大豆の収穫を行いました！



### 女川町【ボランティア派遣】



↑11月14日から入って下さった黒田さん

黒田さんのあとを継いで、12月25日まで入って下さった中野さん。もう活躍のホームで長年ご活躍のプロでした⇒



11月14日より女川町にあるデイサービスセンターおながわへボランティア派遣をはじめました。現在おながわの利用者は23名。9時から15時の間で、お風呂やお茶、リハビリ、体操、お昼ご飯に、ゲームやおやつなど、慌ただしく時間が過ぎていくそうです。方言など困ることもあったようですが、泊まり込みならではの充実したボランティア活動とのことでした。

12月までに3名のボランティアさんを長期的に派遣しました。

### その他の地域【物資支援】



11月16日、登米市にあるさくらんぼくらぶ(通所介護所)におむつや、石けんなど、施設で使われる消耗品をお届けしました。久しぶりの訪問でしたが、施設の方々の笑顔に触れられて感謝です。

4月から「みちのく応援隊」を通して野菜を届けていた南相馬市に、12月6日、ルーテルスタッフが物資をお届けに伺いました。宮城県とはまた違う側面のある福島支援。これからどのように支援を続けていったらいいのか、現地の方の声を聞きながら、考えていきます。



### 各地からのご協力



11月11日、フィンランドルーテル教会(SLEY)から、被災地へ歌声と福音の調べを届けに、3名の方がいらしてくださいました。東北学院大学の寮や仙台教会で、美しい調べを奏でて下さり、シベリウスの曲やスピーチはとても喜ばれ、涙を流される方もいらっしゃいました。

遠くからのご来訪に、心から感謝です。



12月19日、ルーテル学院大学からハーピストのフライナリー先生がハープ演奏に訪れ石巻市北上町の3ヶ所で演奏会が行われました。大学生による余興やサンタクロースやトナカイの登場に子ども達も大喜び。ルーテル教会女性会から届いたプレゼントも配られました。

12月20日には、仙台キリスト教連合や曹洞宗等超宗教が集まって結成された支援団体「心の相談室」主催のクリスマスランチコンサートが行われました。



石巻市開成団地にお住まいの方をお招きし、ランチの後に、ジャズシンガーの沢知恵さんのコンサート。ルーテル教会救援からは藤井先生と伊藤先生がご奉仕くださり、藤井先生が開会祈禱を行なって下さいました。

震災から9ヶ月経った12月11日、東京・ルーテル東京教会にて報告会が開催されました。今回の報告会では、現地スタッフの佐藤と共に、石巻在住で女性プロジェクトのカウンターパートナーであるスワン・国際協力の会の千葉直美さんが上京し、お話下さいました。まずはスタッフ佐藤から、9ヶ月の歩みをご報告。緊急物資支援から、さまざまなボランティ

ア・ボランティアコーディネーター、女性会連盟との協働、コミュニティ支援などへ活動が移ってきた様子がわかりました。千葉さんからは、震災当時のご苦労や、女性の視点を活かした女性ならではの細やかな支援のありがたさ、自然の力に励まされていることなど、お話いただきました。改めて、震災の大きさと、支援活動の意義を感じる時間でした。

